

元気100歳!

今年度、人吉市では新たに25人が100歳を迎えます。9月15日現在で100歳以上の人は49人に。その中から村上さんと大西さんにインタビューし、これまでの暮らしや長生きの秘訣を聞きました。

100歳を迎えて

まだ18歳の気持ちです(笑)

若いころ

出身地の矢部町(現上益城郡山都町)にあった病院や下駄工場で働いていました。結婚を機に50代で人吉に移住しました。



▲自宅に並ぶ旅行先のお土産品。2人の姉と3人で全国各地を旅行したそうです

現在の生活

料理や掃除など身の回りのことは自分でしています。平日は毎日リハビリとして整骨院に通っています。

元気の秘訣

整骨院で、先生やお友達と冗談を交えながら楽しく話すことです。

今の楽しみ

整骨院に行くこと!

これからの生活

食べることが大好きなのでおいしいものをたくさん食べたいです。



村上 タカ子さん
(中林町)
大正14年8月15日生まれ



大西 キミエさん
(瓦屋町)
大正14年7月12日生まれ

100歳を迎えて

100の気持ちじゃないですね。

若いころ

40歳で勉強して看護師になり、往診にも行っていました。負けん気が強いので、どんなことでも頑張りました。

現在の生活

約2年前から老人ホームで生活していて、好きな物作りを楽しんでいます。

元気の秘訣

なんでも食べる。編み物やブレスレットなどを作ることも元気の秘訣かな。

今の楽しみ

リバーサイド御薬園(七地町)へ通所すること。そこでの塗り絵が楽しみです。

これからの生活

今と変わらず、編み物など物作りをして過ごしたいです。



▲塗り絵と手作りの靴下やブレスレット。一つ一つ丁寧に作られています

国や県、市の復旧復興の取り組みをお知らせします

■社会実験「HITONOWA ACTION」

8/30・9/13 胸川 【わくわく川遊び】
胸川を将来的に水遊びができる場所にするため、川の安全な遊び方を学ぶことを目的に開催しました。参加者はライフジャケットでの浮遊体験や水難救助用ロープを使った緊急時の救助方法などを実際に体験。参加した白木さん親子は「救助用ロープは使ったことがないので、いい経験になった。川流れが楽しかったです」と話していました。



球磨川と胸川の合流地点付近で実施した

9/6 中川原公園 【夜のピクニック in 中川原公園】
令和2年7月豪雨災害以降、市に協力的な支援を続けているグリーンコープ生協くまもとが主催したもの。公園にはキッチンカーのほか、唐揚げや豚串などの屋台が出店。また、人吉よさこい銀翔会の演舞や盆踊り、さらに5年間の活動記録を振り返るスライドショーも披露されました。会場は多くの家族連れなどでにぎわい、笑顔で楽しんでいました。



参加者は復興の歩みを振り返った

9/2 肥後銀行人吉支店 【まちの編集室編集員委嘱式】
まちの魅力やまちづくりの取り組みを市民目線で発信してもらうため「熊本人吉まちの編集室」を設置しました。編集員はSNS(会員制交流サイト)で人吉球磨の情報を発信している「人吉球磨チャンネル」の緒方健さん、「人吉球磨めし」の鳥飼絵梨さん、「さるかんね?人吉球磨」の舟戸貴織さんの3人。それぞれのSNSなどで情報を発信します。



市長から委嘱状や腕章が手渡された

■国・県・市での取り組み

9/14 中原小 【中神遊水地事業着工式】
流域全体で水害を軽減させる治水の取り組み「球磨川水系緊急治水プロジェクト」の一環で、国土交通省が整備する中神地区の遊水地事業が着工しました。着工式では、豪雨災害の犠牲者に黙とうを捧げたあと、国土交通省九州地方整備局の垣下禎裕局長が「球磨川流域の安全安心のためスピード感を持って取り組んでいく」とあいさつ。最後に工事の安全を祈願し関係者らでくわ入れを行いました。



令和11年度末に完成予定

豪雨災害の遺失品「思い出の品」の展示会を開催します

市では、令和2年7月豪雨災害後に発見された写真や位牌などの災害遺失物「思い出の品」を保管しています。これらの展示会を開催します。

期間 10月14日(火)～20日(月) ※土・日曜を除く

時間 午前9時～午後4時

受付場所 市行財政改革課施設マネジメント係(市役所3階3-5番窓口)

※受付後、会場に案内します。事前申込は不要ですが、返還や一部閲覧には本人確認書類が必要です。詳しくは市ホームページをご覧ください。



▲市ホームページ

問合せ 市行財政改革課施設マネジメント係 (☎22-2111 内線3231)